

留 学 報 告 書

記入日:2014年4月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: モンタナ州立大学 現地言語: Montana State University
留学期間	2013年8月～2014年4月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	政治経済学部
帰国年月日	2014年4月13日
明治大学卒業予定年	2015年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～4月下旬
学生数	約15,000人
創立年	1893年
特徴	自然豊か、異文化交流が盛んである

留学費用項目	現地通貨(USドル)	円	備考
授業料	20,654	約207万円	
宿舍費	7,000	約70万円	
食費	2,098	約22万円	
図書費	1,000	約10万円	
学用品費	50	約5,000円	
教養娯楽費		円	
被服費	1,000	約10万円	
医療費		円	
保険費	1,000	約10万円	形態:学生保険
渡航旅費	2,500	約25万円	
雑費	3,000	約30万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	38,302	約384万5,000円	2学期分

渡航関連

渡航経路:シアトル→ボーズマン

渡航費用

チケットの種類	
往路	18 万円
復路	7 万円
合計	25 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

なし

取得したビザについて教えてください。

ビザの種類:F-1

ビザ取得方法:アメリカ大使館に直接行く

その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。

アメリカ大使館は非常に混むので、早めに行くことがおすすめです

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学ホームページ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

友人からルームシェアを誘われたが金銭問題で断念。今思えばやれば良かったと後悔しています。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生担当のオフィスがあったため、困ったことがあればそこに相談した。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

夜1人では歩かないことにした。できるだけ友人に車を出してもらった。犯罪には巻き込まれなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内ではネット回線は快適だった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開設し、親に送金をしてもらった。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本食が恋しくなるので、インスタント食品は持っていけばいいかも。

あとは英語の勉強教材もあれば、効率良く勉強できる。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
就活四季報、リクナビ
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
JFE エンジニアリング株式会社
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
留学する前に自身の想いを固めることが大事。あとはインターネット経由でもいいので、情報収集は時間をかけてもやること。自身のやる気と周りに流されない意思が大切。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
College Writing	
科目設置学部・研究科	
履修期間	8/26-12/13
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Schlenz, Mark
授業内容	Writing の書き方・全般
試験・課題など	エッセイ 5 回
感想を自由記入	とにかく書く力をつけるために練習を続けた。大変だったがネイティブと一緒に英語を勉強することは新鮮だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Comparative Politics		比較政治学	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	8/26-12/13		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義・ディスカッション		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Raile, Eric Donaven		
授業内容	世界情勢から様々な政治を見極める。主にアジア地域。		
試験・課題など	テストは中間と期末。レポートは全 3 回。		
感想を自由記入	少人数だったため個人の意見を求められた。やりがいがあった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to American Government		アメリカ政治学	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	8/26-12/13		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Parker, David C		
授業内容	アメリカ政治について。主に大統領制。		
試験・課題など	レポート 2 回、テスト 4 回		
感想を自由記入	アメリカ人ならではの視点が非常に興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Politics of Development			
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	8/26-12/13		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Raile, Eric Donaven		
授業内容	発展途上国での政治について		
試験・課題など	レポート 2 回、テスト 3 回		
感想を自由記入	1つの事柄について深く追求していく授業で楽しかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Economics of Ag Business			
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	1/8-5/2		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Belasco, Eric J		
授業内容	アメリカ農業に関して。ミクロ経済理論		
試験・課題など	テスト 6 回		
感想を自由記入	様々な話をスピーカーを通してきくことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Indiv and Fam Dev: Lifespan			
科目設置学部・研究科			
履修期間	1/8-5/2		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Morrison, Wendy Bianchini		
授業内容	社会学全般		
試験・課題など	テスト 10 回、レポート 2 回		
感想を自由記入	経済主体である家計から社会を見ることができたのが非常に新鮮だった。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	留学許可証をもらう
4月～7月	留学に備え、英語勉強に注力 単位をできるだけとる 就活の軸を決め、情報収集に力を入れる OB 訪問をする
8月～9月	留学開始 授業に追いつくのが大変で、毎日夜1時まで図書館にこもる クラブ見学をし、多くのイベントに参加する
10月～12月	仲の良い友達と週末は遊び、平日は勉強に取り組む
2014年 1月～3月	勉強をする一方で就活開始 インターネットを通して情報を集め、ES を出す
4月～7月	留学修了 帰国後、生活環境を整えつつ、面接ラッシュ 空いた時間で英語勉強をする
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	学生のうちに様々な経験をしてみたいと思ったのが主な理由です。これからグローバル化が進む中、社会人になる前に英語を身につけ、多様な価値観に触れたかったのも理由です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私は始めから学部で留学するというので、留学前の英語の勉強は欠かしませんでした。リーディングを中心に TOEFL で必要な 4 つの要素を満遍なく勉強しました。しておけば良かったと思うことは外国の方との話のネタです。野球やサッカーなど世界的に有名な話ははずむのもっと勉強して様々な話のネタを作れば良かったと思います。
この留学先を選んだ理由	勉強しやすい環境であり、日本人が少ない環境に自身を置きたかったからです。自分に甘えて投げ出すことがよくあるのでこの留学中は精一杯勉強と向き合おうと考えました。
大学・学生の雰囲気	とにかく自由というイメージです。天気の良い日には外の芝生で本を読み、遊ぶ時は精一杯遊ぶというメリハリが大変あり生活しやすかったです。
寮の雰囲気	お互い困ったことがあれば話し合うフレンドリーな寮でした。隣の部屋の友人とはよくご飯を食べたり出かけたりして、友達作りには最適の環境です。
交友関係	語学学校には行かなかったため、当初はなかなか友人がいませんでした。しかしイベントに頻繁に参加したり、友達の友達と仲良くなることで次第に幅広い交友関係を築くことができました。中でもアジア人の友人とは非常に深い関係性を築くことができ、一生の友人ができました。
学習内容・勉強について	私は政治経済を主に履修していました。少人数から大人数の授業をとることで、様々な形式の勉強スタイルで勉強することができました。中でも10人くらいの政治の授業では生徒それぞれに意見を求められ、活発な討論をすることができました。
課題・試験について	課題は非常に多かったため、毎日コツコツ勉強することを心掛けました。現地の友人より時間がかかりますが、そこは自身の努力でカバーしました。
大学外の活動について	夏の間は野球クラブに所属しました。
ある平日のスケジュール	8時:起床 9-12時:授業 12-13時:昼飯 13-18時:自習 18-19時:ジム 19-20時:晩飯 20-22時:自由時間 22-24時:自習 24時:就寝
ある休日のスケジュール	10時:起床 10-12時:自由時間 12-13時:昼飯 13-16時:自由時間 16-19時:自習 19-20時:晩飯 20-22時:自習 22-24時:自由時間、自習 24時:就寝
留学を志す人へ	とにかく将来像を思い描いてください。そしてそのために留学が必要と思うなら、私はチャレンジすべきだと思います。学生のうちは社会人に比べると時間があります。そこで何をやるかが重要だと思いますし、将来のための準備期間です。時間は限りがあるので、しっかり悔いのない学生生活を過ごして下さい。